

3. 日頃からの備えをしておきましょう

③ 非常持出品を準備しておきましょう

非常持出品 いざというときにあわてないように準備しておきましょう。

貴重品

- ☐ 身分証明書
- ☐ 健康保険証
- ☐ 印鑑 ☐ 通帳
- ☐ 現金 (小銭を含む)

小物道具類

- ☐ 懐中電灯 ☐ ラジオ
- ☐ 電池
- ☐ 携帯電話、充電器

医薬品類

- ☐ 常備薬 ☐ マスク ☐ 消毒液
- ☐ おくすり手帳 ☐ 体温計

袋類

- ☐ ゴミ袋、レジ袋
- ☐ チャック付きビニール袋

水・食糧

- ☐ 水
- ☐ 非常食

その他

- ☐ ティッシュ ☐ ウェットティッシュ ☐ タオル
- ☐ 軍手 ☐ 雨具、防寒着 ☐ スリッパ ☐ レジャーシート
- ☐ 下着・上着等の着替え ☐ 筆記用具 ☐ 生理用品

非常備蓄品

- ☐ 缶詰類
- ☐ インスタント食品
- ☐ アルファ化米
- ☐ 水
- ☐ 卓上コンロ ☐ ガスボンベ

浸水が長期化した場合に備えて、家族が最低3日間(推奨7日間)は過ごせるように備蓄しましょう。

災害時の感染症対策

●非常持出品の確認

避難所生活の感染症対策として、できる限り備えておきましょう。

- ☐ マスク
- ☐ 手指消毒液
- ☐ 除菌アルコールシート
- ☐ 体温計

●避難所での過ごし方に注意しましょう

- ☐ 避難の際はマスクを着用する。
- ☐ 避難所に入る前に、検温、体調のチェックをする。
- ☐ こまめな手洗い、咳エチケットを徹底する。
- ☐ 他の避難者との距離を十分にとる。

④ 避難時の心得を知りましょう

避難は、「浸水が始まる前」「自主判断」「徒歩」が大原則です！

●浸水が始まる前に避難を！

浸水が始まると、水深が浅くても流れの速さによっては足をすくわれます。また、側溝やマンホール、水路等が確認できず転落するおそれがあります。

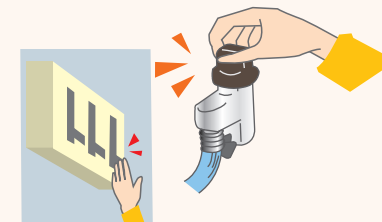
●避難判断は自分で！

防災気象情報や避難情報等の防災情報を基に、自主的避難を心がけましょう。

●移動手段は徒歩で！

車は故障・渋滞に巻き込まれるおそれがあります。

●外出前に電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難しましょう。



●避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。



●夜間の避難は周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。



●避難する前に浸水してきた場合は、建物の2階以上の高い場所に移動して自分の身を守りましょう。



●徒歩での避難が難しい方や、車での移動が必要な山間部にお住まいの方は、雨がひどくなる前に早めに避難を開始しましょう。



車での避難であっても浸水が始まる前に！

土砂災害の前兆現象をキャッチしたら直ちに避難しましょう！

右図のような前兆現象に気付いたら、すぐに安全な場所に避難し、茨木市や警察、消防等に通報しましょう。

土砂災害の発生のおそれを知らせる「土砂災害警戒情報※」が発表されていなくても、「無駄足でも構わない」くらいの気持ちで、すぐに避難しましょう。

※土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険性が高まったとき、気象庁と都道府県から共同で発表されます。この情報が発表されたときは土砂災害が非常に起こりやすい状況ですので、警戒を強めてください。

